

名 称	常滑支部 令和7年度「社会参加活動」への参加
開催日時	令和7年11月2日(日)
記 事	<p>西知多保護区常滑支部において今年も「社会参加活動」が開催され、知多支部から南條明美保護司、小貝和子保護司、青木善昭保護司が参加しました。</p> <p>「社会参加活動」は、地域社会で活動すること全般を指し、就労だけでなく、ボランティア活動、町内会活動、趣味や習い事なども含まれます。これらの活動は、個人の生きがいや健康維持にも繋がり、地域社会の活性化にも貢献します。</p> <p>去年は道路清掃を実施しましたが、今年は「まちの駅 常滑焼 ヤマタネ」で陶芸体験（手ひねりでの茶碗作り）が行われ、陶芸家で陶芸療法士の都築豊氏が講師となり楽しみながらの作陶となりました。</p> <p>参加者は、西知多保護区の東海支部、知多支部、常滑支部の保護司、常滑市の更生保護女性会、BBS（Big Brothers and Sisters Movementの略）の会員、保護観察対象者、そして名古屋保護観察所の地区担当である本郷かほる保護観察官の合計27名でした。</p> <p>作陶はほとんどの方が初体験で、作品は「才能あり」までのレベルに達しないものの世界に一つしかない陶器を完成することが出来ました。</p> <p>この活動において新たなコミュニケーションが生まれ、社会生活の繋がりの一助になったと思います。</p>



作陶に奮闘中の知多支部保護司



本郷保護観察官と作品